



2023年5月26日

各 位

会 社 名 東京都千代田区永田町二丁目11番1号  
アルコニックス株式会社  
代表者名 代表取締役社長執行役員COO 手代木 洋  
(コード：3036 東証プライム市場)  
問合せ先 取締役常務執行役員CSO 鈴木 匠  
コーポレート部門長  
TEL 03-3596-7400

## 中期経営計画策定のお知らせ

当社は、本日開催の取締役会にて2024年3月期を初年度とする2026年3月期までの3年間の中期経営計画の策定について決議しましたのでお知らせいたします。当社は引続き、経営を取り巻く情勢の変化に迅速に対応するため、一年毎に経営計画を見直し、ローリングする方針を採用しております。

(全体像及び中期経営計画概要)

### ①基本理念

夢みた未来を描く：アルコニックスは、非鉄金属の取引を通じて、「新たな価値＝夢みた未来」を創造し、社会の発展に貢献します。

### ②企業理念

アルコニックスは、商社と製造業の両輪での事業展開を通じて新たな可能性に挑戦し続け、社会の発展に貢献します。

### ③経営理念(行動規範、価値観)

- イ. 法令・企業倫理を順守し、公明正大かつ透明性の高い経営を行い、誠実で信頼されるグループへ成長します。
- ロ. 株主、取引先、従業員、地域社会との良好な関係を維持し、「良き企業市民」としての責務を果たします。
- ハ. 3R (Reduce、Reuse、Recycle) 関連事業を中核として、資源循環型・環境配慮型社会の発展に貢献するとともに、新たな「環境親和型ビジネス」の創出に挑戦します。
- ニ. 高い専門性を持つ人材の育成を図り、活力溢れ、洗練されたグループを目指します。

### ④中期経営方針のVISION

アルコニックスは商社機能と製造業を融合する総合企業を目指します。

- ・豊かな社会の構築への貢献
- ・循環型・環境配慮型社会の構築に貢献
- ・商社と製造業の融合による新たな未来の創出に貢献
- ・ガバナンスの高度化とオペレーションの標準化

### ⑤取組むべき課題

- ・財務体質の強化
- ・人的資本の強化
- ・ガバナンスの改善・強化

⑥アクションプラン

- ・既存事業における営業収益力の強化
- ・投資案件の再構築
- ・インフラ整備及び内部統制の充実・強化

(経営目標—数値は計画の最終年度である2026年3月期の目標値)

利 益 目 標	連結営業利益	122億円以上 (2024年3月期見通し 84億円)
	連結経常利益	120億円以上 (2024年3月期見通し 82億円)
	連結当期純利益 <small>(親会社株主に帰属する当期純利益)</small>	79億円以上 (2024年3月期見通し 55億円)
経 営 指 標	E B I T D A	160億円以上
	ROE (株主資本利益率)	12%以上
	ROIC (投下資本利益率)	6%以上
	DOE (株主資本配当率)	3%以上

※中期経営計画の詳細は、添付資料をご参照ください。

以 上



# 中期経営計画2023

2024年3月期～2026年3月期

2023年5月

アルコニックス株式会社

プライム市場

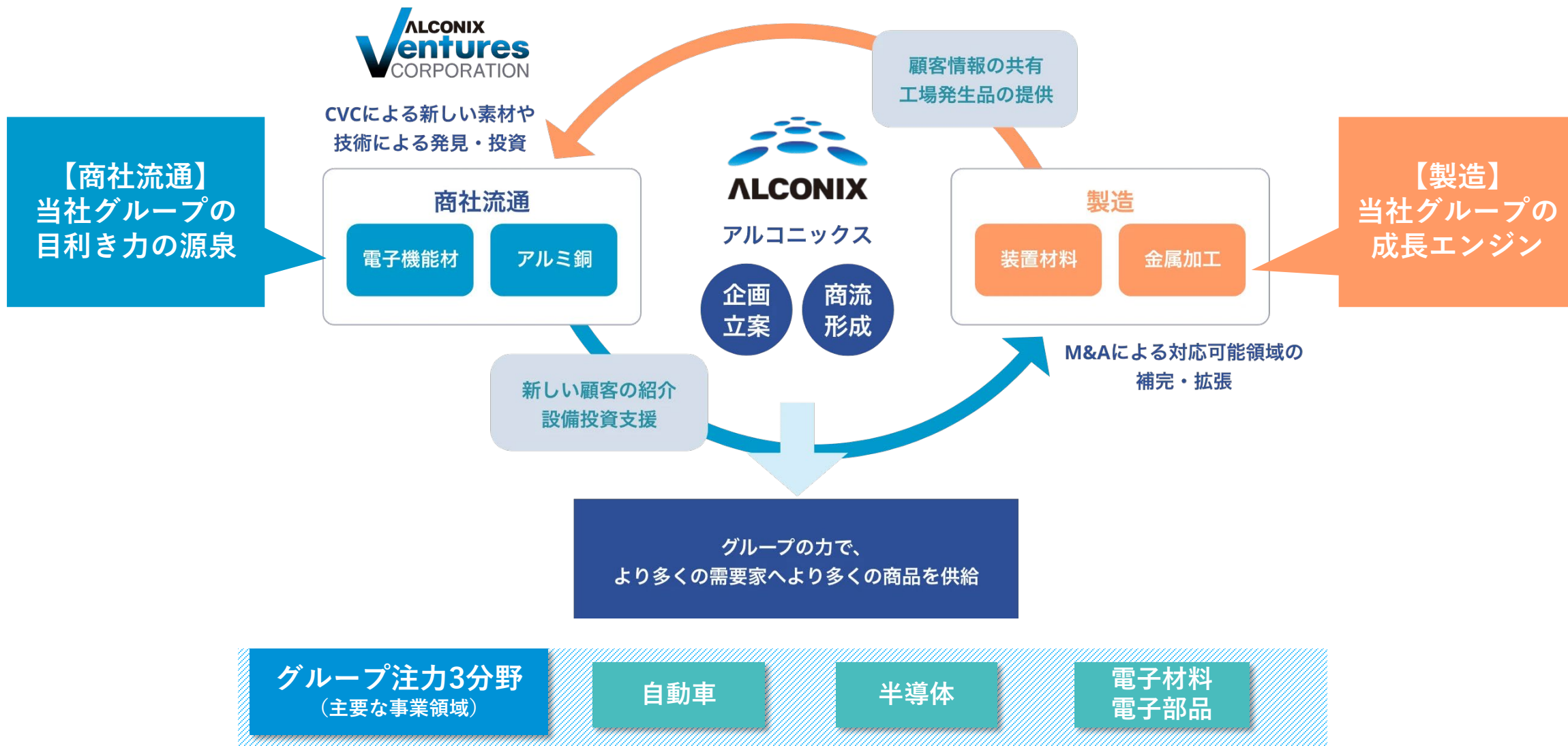
3036

## 目次

1. アルコニックスとは？	P3～5
2. 2023年3月期の振り返り	P6～7
3. 中期経営計画2023（2024年3月期～2026年3月期） 取組むべき課題	P8
4. 数値目標	P9～10
5. 資本政策・財務戦略	P11～13
6. Appendix アルコニックスのサステナビリティ	P14～19

# アルコニックスグループ = 非鉄金属等の総合ソリューションプロバイダー

非鉄金属の素材・部品・製品の生産から卸売まで、全てをONE-STOPで提供



# アルコニックスのグループ価値観：非鉄金属の取引を通じて「夢みた未来を描く」

ALCONIX  
AL / CO / NI / X  
アルミ 銅 ニッケル 無限の可能性

社名に込めた信念

非鉄金属商社から、製造業への展開を通じて、  
新たな可能性に挑戦し続ける

当社の存在意義  
(パーパス)

祖業の商社機能で培われた情報収集力を活かし、  
最終需要家に良質な金属加工部品・素材・装置を  
供給することで、日本のものづくりに貢献すること

企業理念

当社の  
企業理念

アルコニックスは非鉄金属の取引を通じて、  
**新たな価値を創造**し、社会の発展に貢献  
II  
**「夢みた未来」を描く**  
付加価値の高い金属加工製品・装置で  
デジタル社会のインフラを供給している

当社の  
経営理念

- ・ 公明正大かつ透明性の高い経営
- ・ ステークホルダーとの良好な関係
- ・ 資源循環型・環境配慮型社会の発展に貢献  
※3R (Reduce, Reuse, Recycle) 関連事業を中核に
- ・ 高い専門性を持つ人材

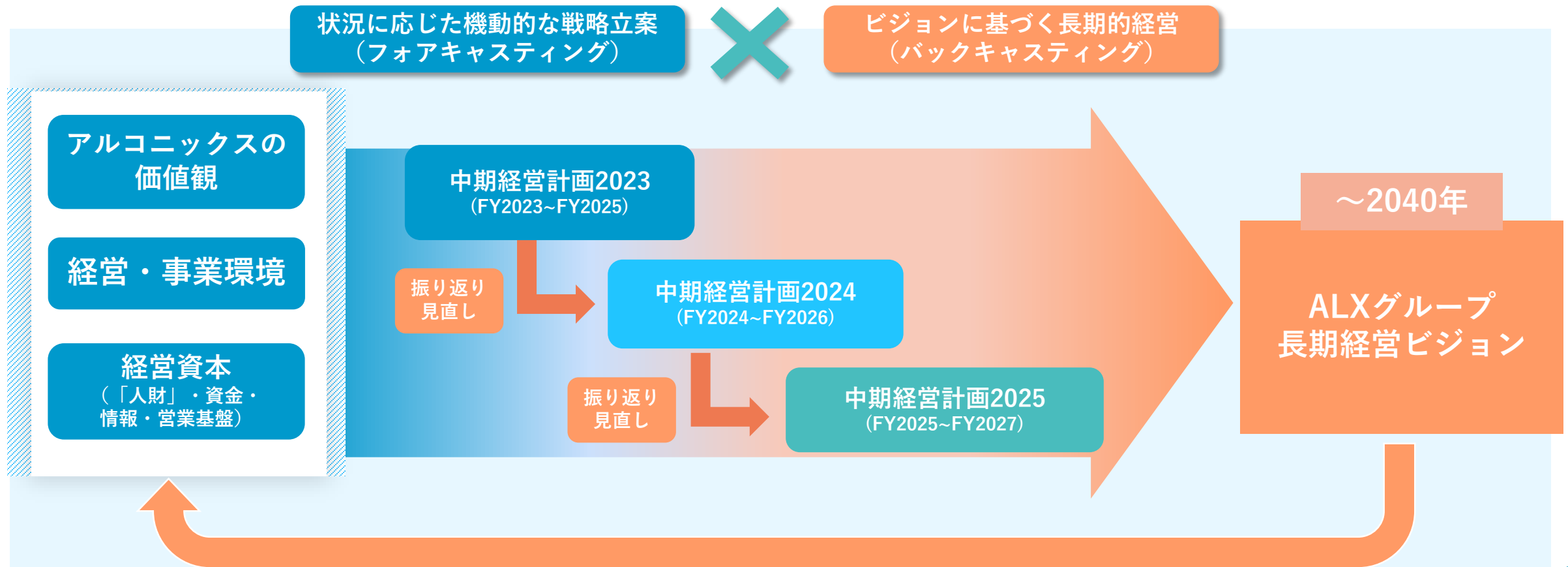
サステナビリティ  
基本方針

経営理念

## ローリング方式の中期経営計画

- VUCA(※)時代の事業環境に迅速に適応するべく、経営資源の機動的な計画を立てるため
- 各グループ会社の成果や課題、成長の方向性を毎年検証し、グループ全体の事業ポートフォリオの最適化を目指す

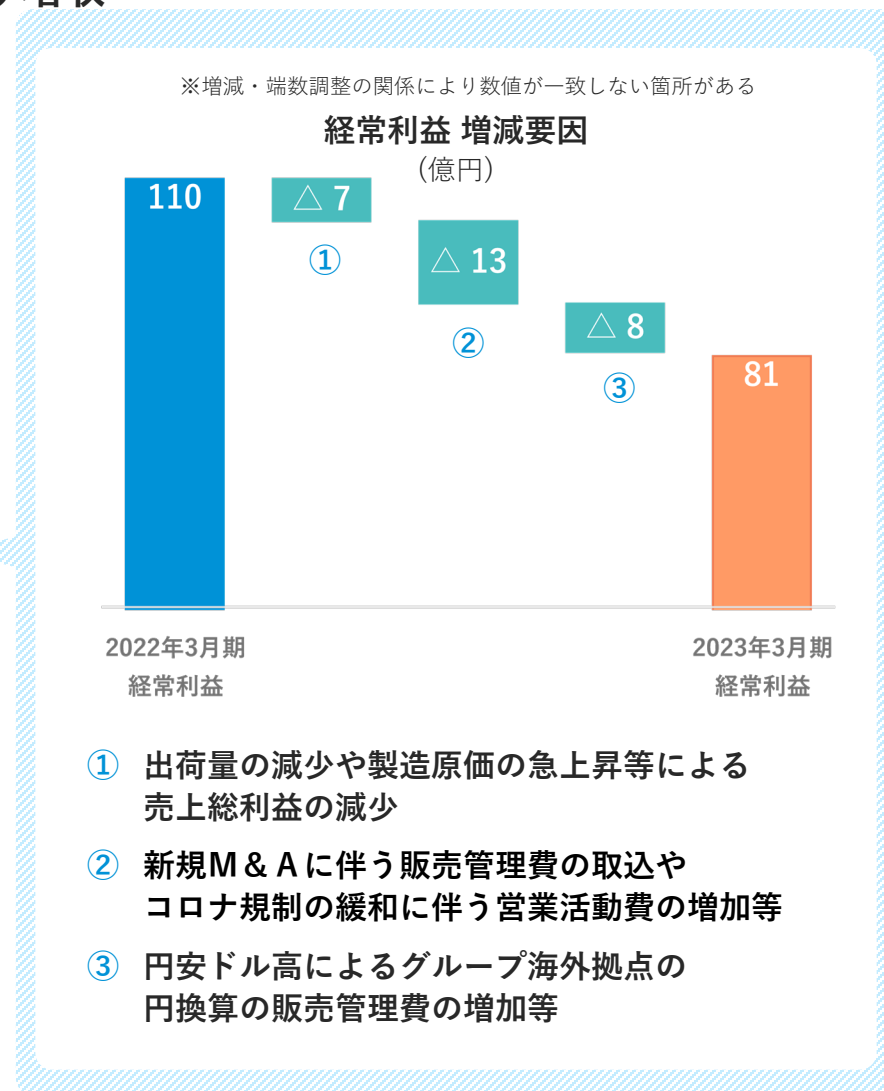
(※) VUCA (Volatility : 変動性、Uncertainty : 不確実性、Complexity : 複雑性、Ambiguity : 曖昧性)



## 2023年3月期の振り返り：通期数値分析

- 2022年3月期比 資源価格変動の影響は少ないものの、円安の効果により増収
- 原価の上昇や需要家の在庫調整により出荷は減少し減益

(億円)	2022年3月期	2023年3月期		2023年3月期	計画差異
	実績	実績	増減率	期初計画	
売上高	1,562	1,783	14.1%	1,700	+83
営業利益	110	83	△ 23.8%	91	△ 7
経常利益	110	81	△ 25.7%	90	△ 8
EBITDA	151	132	△ 12.6%	—	—
ROE	15.1%	10.5%	△ 4.6%	—	—
ROIC	6.7%	4.6%	△ 2.1%	—	—
DOE	2.9%	3.0%	+ 0.1%	—	—



※1 ROE：株主資本利益率（親会社株主に帰属する当期純利益 ÷ 株主資本 × 100）

※2 ROIC：投下資本利益率（税引後営業利益 ÷ （有利子負債 + 株主資本） × 100）

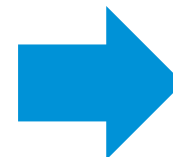
※3 DOE：株主資本配当率（1株当たり年間配当額 ÷ 1株当たり株主資本 × 100）（「株主資本」の定義：連結貸借対照表の『資本金』+『資本剰余金』+『利益剰余金』）



## 2023年3月期の振り返り：グループ全体総括

### ● 四半期別レビュー

- 1Q：前年度からの好調な出荷推移、銅・アルミ等市況が高値推移
- 2Q：上海ロックダウン、半導体不足による自動車生産台数の伸び悩み
- 3Q：急激な円安により売上は高水準で推移  
製造原価増加分の価格転嫁が追い付かず、利益率が低下
- 4Q：3Qの傾向が継続し、且つ中国のコロナ政策転換による物流の混乱が影響



経常利益の額は  
期の後半にかけて低下

2023年3月期 四半期別経営成績					
(億円)	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
売上高	46,837	45,377	43,498	42,620	178,333
経常利益	4,251	1,853	1,545	526	8,176
為替レート (円/US\$)	129.57	138.37	141.59	132.34	135.47
銅 (US\$/MT)	9,529	7,719	7,994	8,949	8,548
アルミ (US\$/MT)	2,905	2,358	2,346	2,438	2,511
ニッケル (US\$/MT)	29,028	22,054	25,348	26,078	25,627

### 当社注力3分野への外部環境の主な影響

	自動車	半導体 半導体製造装置	電子材料 電子部品
中国経済の減速	○		○
サプライチェーン の混乱	○		
民生用IT機器の 需要減退		○	○
半導体不足	○	○	
需要家の在庫調整	○	○	○

出荷量は減少

## 中期経営計画2023（2024年3月期～2026年3月期）

- 2022年度開示の「新中期経営計画」で示した経営方針を踏襲、取組をより具体的に強化する

### ① 財務体質の強化

- 詳細は11ページから13ページを参照

### ② 人的資本の強化

- 詳細は17ページから19ページを参照

### ③ ガバナンスの強化

- グループ会社ガバナンスの強化
- グループ内コンプライアンス教育の更なる推進

## 2026年3月期：売上高 2,230億円、経常利益 120億円、ROE 12.0%以上、EBITDA 160億円

(億円)	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	
	実績	実績	見通し	前期比
売上高	1,526	1,783	1,860	+ 76
営業利益	110	83	84	+ 1
経常利益	110	81	82	+ 1
EBITDA	151	132	128	△ 4
ROE(※1)	15.1%	10.5%	9.8%	△ 0.7%
ROIC(※2)	6.7%	4.6%	4.5%	△ 0.1%
DOE(※3)	2.9%	3.0%	2.9%	△ 0.1%



2026年3月期	
計画	2023年3月期対比
2,230	+ 370
122	+ 38
120	+ 38
160	+ 32
12.0%	—
6.3%	—
3.2%	+ 0.2%

(※ 当社 計画値)

※1 ROE：株主資本利益率（親会社株主に帰属する当期純利益 ÷ 株主資本 × 100）

※2 ROIC：投下資本利益率（税引後営業利益 ÷ （有利子負債 + 株主資本） × 100） ※みなし実行税率は33%

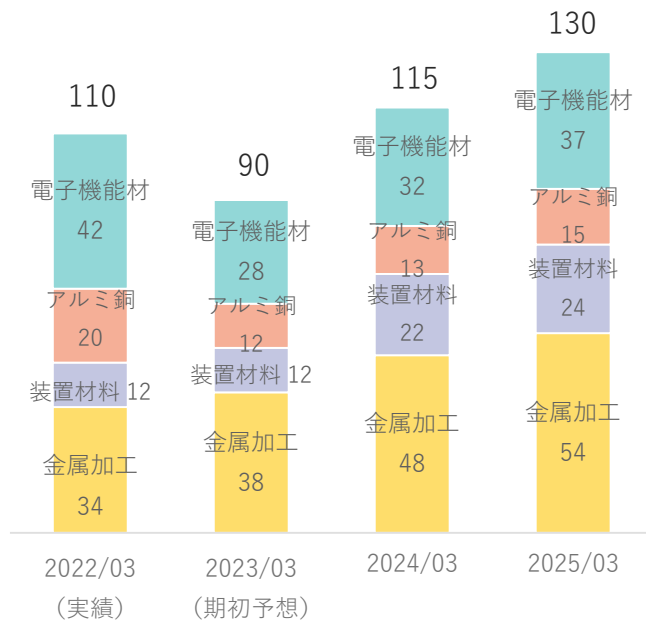
※3 DOE：株主資本配当率（1株当たり年間配当額 ÷ 1株当たり株主資本 × 100）

（「株主資本」の定義：連結貸借対照表の『資本金』 + 『資本剰余金』 + 『利益剰余金』）

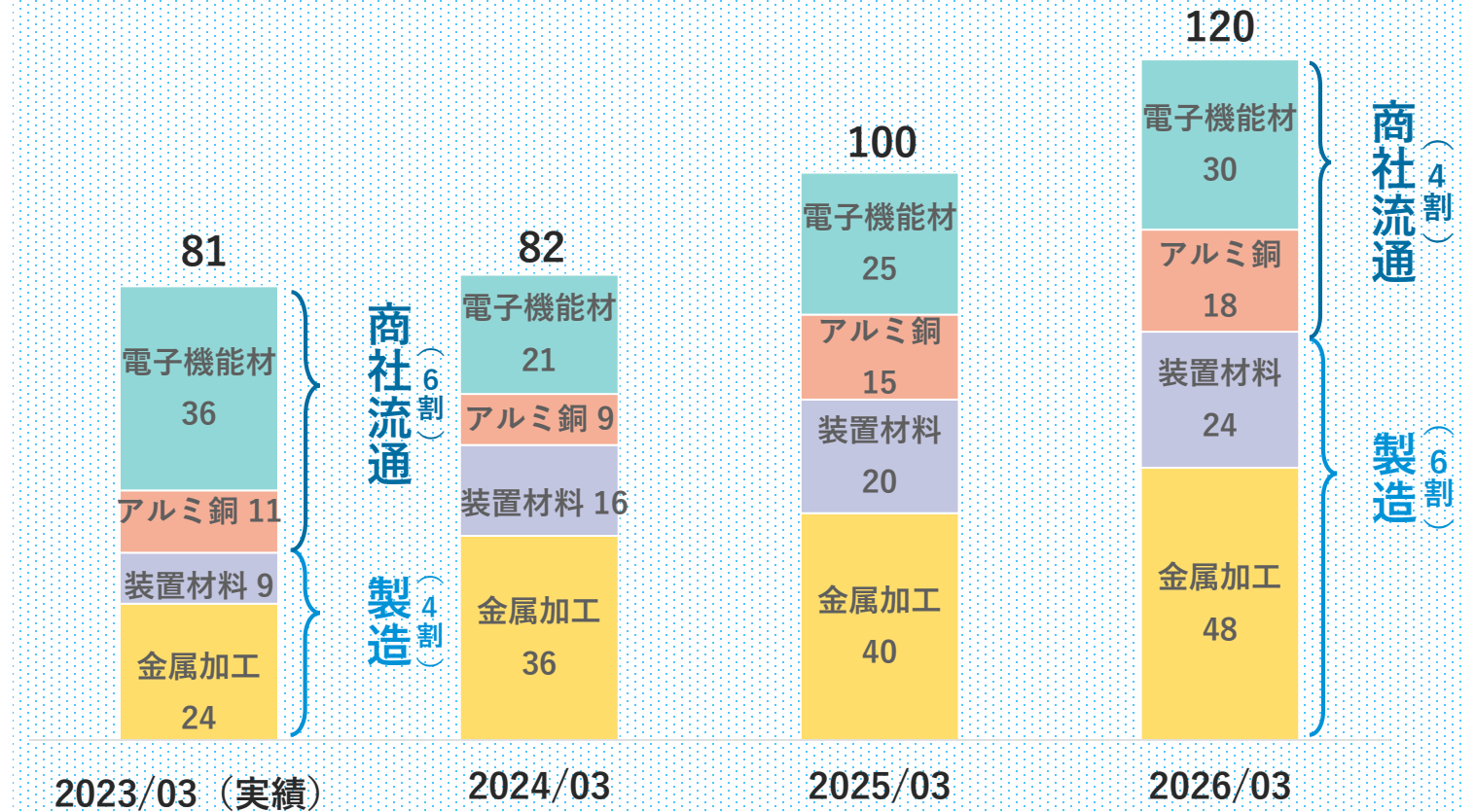
# セグメント利益計画(経常利益ベース/中期経営計画2022との数値比較)

(単位：億円)

【参考：中期経営計画2022】



## 中期経営計画2023



※増減・端数調整の関係により数値が一致しない箇所がある

## 資本コストと資本効率について 当社の考え方 (1)

- 2023年3月期末の資本コストは 3.5%～4.0% 程度 (※) と認識

### ROICの向上

- ① 外部環境と内部課題の分析を踏まえた、  
本業の価値創造能力の抜本的強化 (=EBITDA増大) を目指す
- ② 低採算事業の構造改革を進める
- ③ 非稼働資産・非営業資産の流動化 (政策保有株式の売却など) により負債を減額する
- ④ 価値創造能力を担う「人財」の投資を強化し、一人当たりEBITDAを増強する

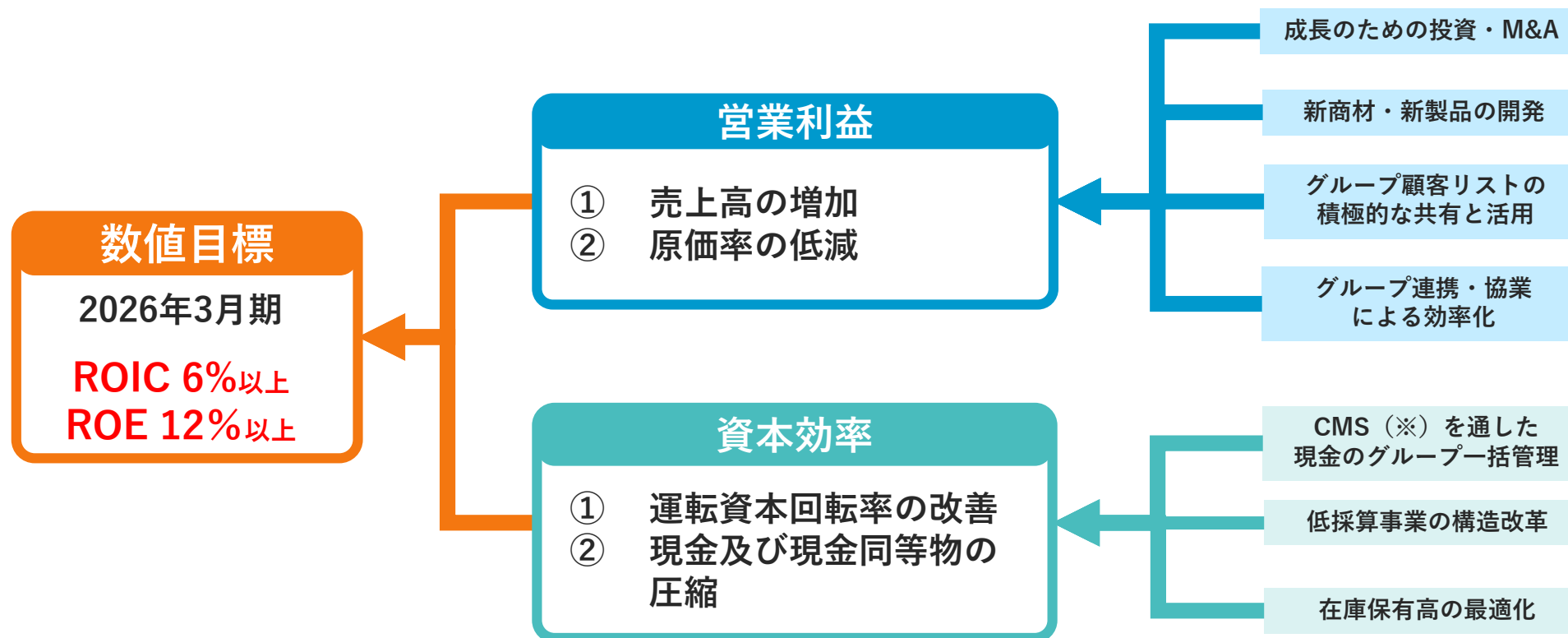
### ROEの向上

- ① 成長戦略の実行 (注力3分野への更なる投資)
- ② 株主還元の充実 (DOE3%目標の達成)

## 資本コストと資本効率について 当社の考え方 (2)

- 具体的な数値目標：**ROIC 6%以上、ROE 12%以上**

### 資本効率向上に向けた当社の取組原則

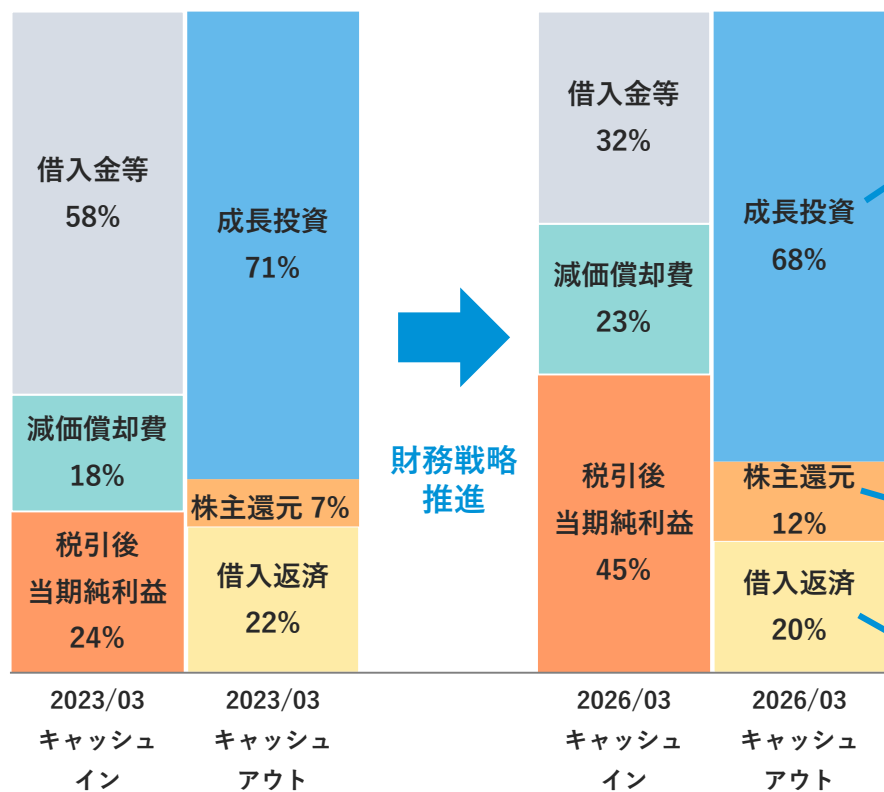


※ CMS=キャッシュ・マネジメント・システム

# 資本政策・財務戦略

## 資本効率を意識した財務体制の構築

### キャピタル・アロケーションの考え方



財務戦略推進

- 企業価値向上のための積極的な成長投資
- 新規M&A
  - CVC（新商材・新製品・新サービスの発掘）
  - グループ会社の設備投資
  - 脱炭素・資源循環といった環境親和型ビジネスへの投資
  - 人的資本への積極的投資

安定且つ継続的な株主還元の実施  
DOE 3.0%の目標を維持

3年間で有利子負債を圧縮

(※上図は運転資金を除く)

# サステナビリティについて

## サステナビリティ推進への取組

～ 2023年3月期

2024年3月期～2025年3月期

2026年3月期～

サステナビリティ委員会の発足  
サステナビリティ推進室の設置

グループESGデータ調査の実施

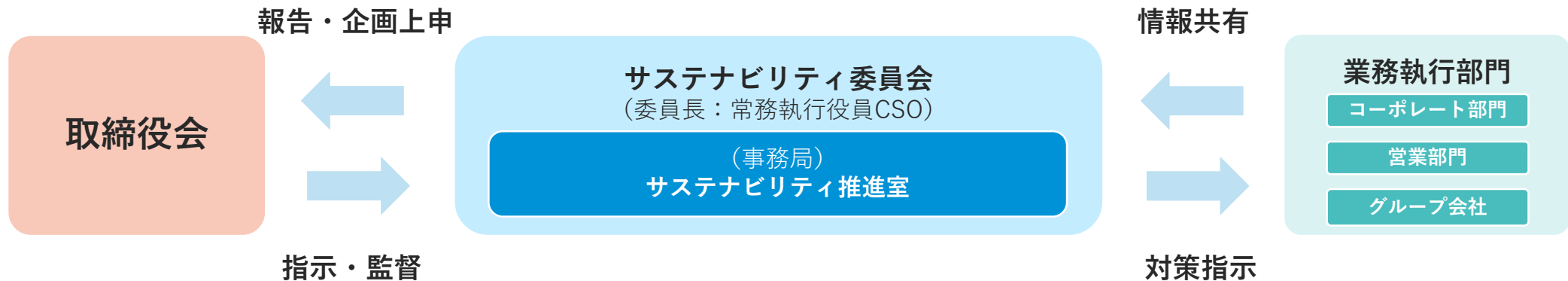
マテリアリティの特定

グループ共通の  
サステナビリティデータ基盤の整備

マテリアリティ別  
アクションプランの策定

目標設定  
実績評価  
PDCA

## サステナビリティ推進体制





# 当社のマテリアリティ

## 【脱炭素・資源循環といった環境親和型ビジネスを推進する】

- ① 自社工場への太陽光発電の導入
- ② EV他次世代自動車向け商材の拡販
- ③ レアメタル再資源化技術の開発支援

**E**  
(環境)

## 【コンプライアンス・リスクマネジメント体制を中心とした内部統制を一層強化する】

- ① グループ内部通報制度の整備
- ② グループコンプライアンス研修
- ③ 監査役業務室・内部統制業務室の設置

**G**  
(ガバナンス)

## 【ステークホルダーとの関係構築を強化し、人権を尊重する取り組みを具体化する】

- ① グループ会社の地元密着型地域貢献
- ② 投資家・株主とのより一層の対話
- ③ グループ健康宣言の開示

**S**  
(社会)

## 最重要項目

### 【多様な人財の創造的な活躍をサポートする登用・育成制度と職場環境を整備する】

- ① 全社向け選択型研修システムの導入
- ② 女性活躍推進行動計画の設定
- ③ 法定基準を上回る介護・育児支援制度の導入

**H**  
(「人財」)

マテリアリティ

詳細は当資料のP18以降を参照

# 気候変動への当社の取組状況

## ロードマップ

～ 2023年3月期

国内各拠点のScope1/2  
GHG (※) 排出量を算定

再生可能エネルギーの導入  
を開始

2024年3月期～2025年3月期

Scope3 GHG排出量の算定に着手

グループ海外拠点の  
Scope1/2 GHG排出量を算定

TCFDシナリオ分析の精度を上げ  
経営戦略に反映

2026年3月期～

排出量削減目標の  
設定

脱炭素関連ビジネスを  
拡大

株式会社 富士根産業の事例  
(静岡県沼津市)



太陽光パネル敷設

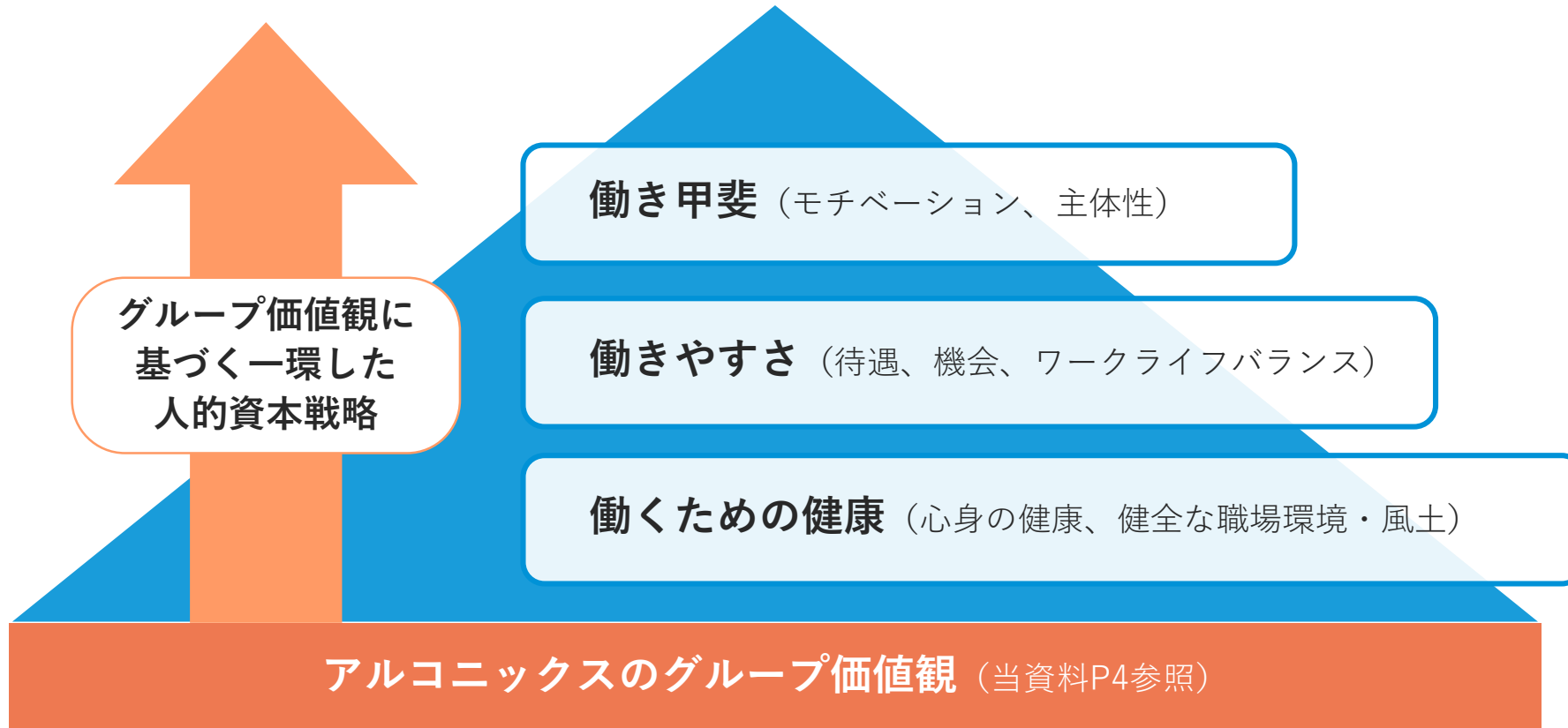
※ GHG：温室効果ガス (Greenhouse Gas)

## 人的資本について 当社の考え方

- 「価値創造の源は『人財』」：マテリアリティの最重要課題として注力

《アルコニックスグループが求める「人財」の定義》

**「夢を描き、形にする」能力の持ち主**



# 人的資本への投資方針

- 価値創造能力の強化のために当社が重点的に育成すべきスキルを特定し、教育から発揮の機会までを一貫して提供
- グループ各社にもこの人的資本投資の枠組みを展開し、各社の個性を反映しつつ、各社員の価値創造能力を最大化する教育研修体系の構築を検討

当社が求める  
「人財」の構成要素を軸に  
教育研修制度を作る

ALXが求める戦略スキル

- ① 未来志向の経営力
- ② デジタル技術の素養
- ③ サステナビリティへの知見

重点履修研修

- 幹部候補社員の研修制度
- ITパスポート取得支援
- サステナビリティ自分ごと化研修

教育研修投資を強化し  
制度の実効性を高める

教育研修費（単体）

2023年3月期実績: 1,320万円

2026年3月期計画: **4,500万円**

延べ教育研修時間（単体）

2023年3月期実績: 2,386時間

2026年3月期計画: **4,300時間**

適正な機会提供により  
習得スキルの発揮を促す

- ① グループ内人事交流の活発化  
⇒ 本社と各拠点との相互連携を強化、  
モノづくりを核とする新たな商売を開拓
- ② CVC（※）への若手社員の登用  
⇒ 最新の技術的・商業的知見に触れる  
機会を増やす
- ③ 異動希望申告制度の利用促進  
⇒ 社員の主体的なキャリア形成を促進
- ④ 女性管理職の登用  
⇒ 女性リーダー育成セミナーと組み合わせ  
性別を問わず機会を提供

## 3つの「K」の推進



### ① 《給与・機会》：女性活躍の更なる推進

- ◆ 職群の一本化による**男女賃金格差是正**
- ◆ 女性管理職比率の向上  
(2023年3月期末 実績：3.7% ⇒ **2026年3月期末 目標：5%**)

### ② 《教育》 研修制度の充実

- ◆ 教育研修費を3年後に2022年度実績比 **3倍強**に増額
- ◆ 若手・中堅社員向けの選択式研修の導入
- ◆ 幹部候補社員の研修制度やリスキリング機会付与に関する制度設計を2023年度に完了を見込む

### ③ 《機会》 育児・介護支援制度の更なる充実

- ◆ 性別を問わない育児参加を奨励、介護離職を防止
- ◆ 男性育児休暇制度  
(2023年3月期の導入後の取得率は100%)
- ◆ 育児や介護向けの各種休暇や柔軟な働き方を促す制度も**法定を上回る水準で導入**



### 【DISCLAIMER】

本資料に掲載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。

なお、法令に定めのある場合を除き、当社はこれらの将来予測に基づく記述を更新する義務を負いません。

実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績に影響を与える要素には、国際情勢、非鉄金属原材料等の相場価格、非鉄金属等製品の需要動向および市況、為替レートなどが含まれますが、これらに限定されるものではありません。

## アルコニックス株式会社

プライム市場

3036

2023年5月